



Rikuyosha Co.,Ltd.

株式会社 六耀社 (りくようしゃ)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-19-12 静岡銀行ビル 5 階

Tel:03-3354-4020 Fax:03-3352-3106

プレスリリース カテゴリー: [新刊書籍の発刊告知]

2011 年 10 月 発信

報道関係者各位

## 新刊『日本をはみ出る』(著:川島蓉子)の刊行決定!

海外で勝負する 4 人の日本人への取材で見えてきた、日本にいま必要な「仕事力」とは?

2011 年 10 月 25 日に、書籍『日本をはみ出る 海外で勝負する 4 人の日本人の仕事力』(著:川島蓉子)を刊行する運びとなりました。本書は、日本を飛び出し、海を越えてグローバルに活躍する日本人として、ファストファッションの雄として名をはせている「ユニクロ」のパリ進出を成功に導いた真田秀信(ユニクロ フランス C00)、イギリスの最高裁判所の家具デザインを手がけた安積朋子、パリの老舗カフェ・ド・フロールで日本人初のギャルソンを務める山下哲也、世界のトップファッション誌の仕事をするメイクアップアーティストの吉川康雄、以上の 4 名を取り上げます。

彼らはパリ、ロンドン、NYといった世界の大都市で、ひたむきに己の可能性を追い求め、揺るぎない信念を貫きながら活躍しています。そこで、彼らが考える世界の中核で厳しい競争を勝ち抜くための本当の「仕事力」とは一体どんなものか。その答えを見つけるべく、これまで数々の画期的なブランディングプロジェクトや、いくつもの著書で消費者視点での企業分析を行ってきた川島蓉子が現地で彼ら 4 人を取材し、彼らが異国の地で度重なる困難や障害をいかにして乗り越え、どんなプロセスで自分の才能を最大限表現できるステージを手にするまでに至ったかを解き明かしながら、そこから浮かび上がってくる、これからの日本人に求められる国際力、すなわち「日本をはみ出る」原動力となった強い意志と自己実現力の在り様を浮き彫りにします。

### 【著者プロフィール】

川島蓉子 (かわしま ようこ)

1961年、新潟市生まれ。早稲田大学商学部卒業、文化服装学院マーチャンダイジング科修了。1984年、株式会社伊藤忠ファッションシステム入社。アパレル、化粧品、流通、家電、自動車、インテリアなどの国内外の企業と、ブランド開発・デザイン開発等のプロジェクトを行う。Gマーク審査委員。著書に『ビームス戦略』(PHP研究所、日経ビジネス人文庫)、『伊勢丹な人々』(日本経済新聞社、日経ビジネス人文庫)、『虎屋ブランド物語』(東洋経済新報社)、『社長とランチ』(ポプラ社)、『ブランドはNIPPON』(文藝春秋)などがある。

#### <書籍概要>

【書名】日本をはみ出る  
—海外で勝負する 4 人の日本人の仕事力—  
【定価】1,680 円 (本体価格 1,600 円+税)  
【仕様】四六判 (天地 188×左右 127 mm)、232 頁、上製本  
【ISBN】978-4-89737-684-4  
【発刊日】2011 年 10 月 25 日

#### <会社概要>

【代表者】藤井 一比古  
【設立】1974 年 6 月 13 日  
【事業内容】図書の編集、出版及び販売  
【URL】<http://www.rikuyosha.co.jp/>  
【主要出版ジャンル】デザイン、アート、建築、趣味実用、紀行・ガイド、ビジネス、一般

## 取材対象者4名のプロフィール紹介



### 真田秀信 (さなだ ひでのぶ)

1972年、福岡県北九州市生まれ。九州産業大学国際経営学科卒業後、95年に(株)ファーストリテイリングに入社。日本のユニクロにおいて六年間、一貫して営業店舗の経営に従事し、店長をはじめとして、スーパーバイザー、ブロックリーダーと店舗系の職務を歴任する。2001年よりイギリスに異動し、営業責任者を3年、その後アメリカの営業責任者を2年経験した後、日本に帰国。2009年から、フランス事業責任者としてパリに赴任。フランス初のフラッグシップストアのオープンをはじめ、ビジネスの立ち上げに携わる。

現在はイギリスとフランスの二カ国の事業責任者として、ヨーロッパにおけるユニクロのビジネスモデルの完成と高品位サービスの実現を目指し、多くの人々に愛される日本代表のブランドになることを目標としている。



### 安積朋子 (あづみ ともこ)

1966年、広島県生まれ。京都市立芸術大学で建築を学んだ後、東京の建築設計事務所に勤務。その後、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）で家具デザインを学び、前夫の安積伸とともにデザインユニット「AZUMI」として活動開始。2005年、t.n.a. design studio をロンドンにて設立。これまでに「100% Design London」「Happening Tokyo」「サローネ・サテリテ」等に出品。現在はイギリスをはじめとするヨーロッパや日本の企業とのプロジェクトを手がける。家具、家庭用品、照明器具、展示会場の構成や什器などのデザインをはじめ、素材や加工法などのリサーチ・プロジェクトも行う。

製品や空間の美しさや機能性の向上はもちろん、クライアントや製品の持つ歴史や背景を読み取り、アイデアを素材や工法に置き換える。このようなデザインの手順を通して、生活全般の質を高めることを活動の目的としている。



### 山下 哲也 (やました てつや)

1973年、東京都生まれ。青山学院大学国際政治経済学部在籍中、本場フランスのギャルソンとの出会いを機に、男子一生の仕事としてカフェのギャルソンになることを決意する。2002年渡仏。パリの老舗カフェ、カフェ・ド・フロール Café de Floreで、ギャルソンは生粋のフランス人のみという不文律を覆し、2003年夏より予備要員として、さらに2005年4月より、引退したギャルソンの後継者として名実ともにフロールのメゾンのギャルソンとして立つ。

自己の天性を完全に実現することを人生の目的とし、フランスの文化的財産であるカフェ、またカフェのギャルソンの伝承者として、日本の多くの人々にその魅力を伝えたいと願っている。好きな言葉として、ナポレオンの「余の辞書に不可能という文字はない」を掲げる。



吉川 康雄 (よしかわ やすお)

1959年、新潟県生まれ。83年、メイクアップアーティストとして本格的に活動を開始し、ファッション誌や大手企業の広告などの制作に参加。95年、渡米。以降、ニューヨークを拠点に、各国の『ヴォーグ』をはじめとする、数多くのファッション誌の表紙やファッションページでのメイクアップを中心に活躍。仕事を通して女性を心からリスペクトすることを学び、「その人に施された“化粧”が目立つのではなく、化粧によりその人自身が“美しい人、に見えること”を信念に、“美しい素肌のような肌”を作り上げるメイクアップを実践。各方面から驚きと賞賛を得ている。2008年3月に、カネボウ化粧品とタッグを組み、日本の大人の女性に向けた、メイクアップで簡単にエイジングケアができることを提案するブランド「CHICCA (キッカ)」を立ち上げた。現在は、ニューヨークでの仕事と平行し、シーズンごとの新色や新商品の開発にも携わる。

表紙カバーのデザイン

日本を  
なまなま  
の国

パリ、ロンドン、NYで、日本人としての才を  
発揮している4人が考える**本当の競争力とは？**

ミラノのバリ直樹の立役者  
真田秀信の突破力  
英国最高級洋装所の家長をデザインした  
安積朋子の伝える力  
パリの老舗フレンチブローリギルラン  
山下哲也の執着力  
NYを拠点とするイタリヤアーティスト  
吉川康雄の飛翔力

川島蓉子  
海外で勝負する**4人**の日本人の仕事力  
海を越えた**NIPPON**魂がここにある。

ブックデザイン： 漆原悠一 (tento)

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 六耀社 営業部 小川和久 (オガワ カズヒサ) までお願いいたします。

TEL : 03-3354-6694 FAX : 03-3352-3106 E-mail : [ogawa-kazuhisa@rikuyosha.co.jp](mailto:ogawa-kazuhisa@rikuyosha.co.jp)